



(小学校衛生教育)



(婦人妊婦衛生教育)

2007年から2010年まで実施されたJICA草の根技術協力事業「北インド農民への保健衛生教育と人材育成」の視察で、2010年の事業終了時と2011年の事業終了後にアーナンダ病院を訪問しました。

クシナガルは、インドの中でも特に妊産婦死亡率、乳幼児死亡率が高いウッタルプラデシュ州に位置しています。医療ケアが届きにくい地方の村では、妊婦自身やその家族が衛生や栄養、母子保健について知り、それを適切に実践することが妊産婦死亡、乳幼児死亡を防ぐ有効な手段です。アーナンダ病院ではJICA草の根技術協力事業として、妊婦とその家族を対象とした妊婦保健衛生教室を週1回実施、病院作成の母子手帳の配布等を行いました。

病院で診察を行う唯一の医師、グプタ先生は1日に約100名の患者を診察します。クシナガルの農村にあるアーナンダ病院へは近隣の住人だけでなく、隣の州からも患者が遠路はるばるやって来ます。それは、

アーナンダ病院が高額な治療費を支払えない貧困層の人びとを、低い料金で診察しているという理由だけではなく、グプタ先生の丁寧な治療の評判によるものです。インドの公立病院の質は残念ながらかなり低く、施設や医師の不足によって院内はいつも人が溢れかえっています。医師が適切な薬を処方してくれるとも限らず、公立病院へ行ったからといって必ず病気が治るとも言えないのが現状です。

そんなインドの状況において貧困層が適切な治療を受けられるアーナンダ病院は稀有な存在です。インド福祉村の支援者の方々の寄付によって建設され、15年にわたり運営されてきたアーナンダ病院がこれからもインドで最も支援を必要とする人たちに治療を提供できるよう、日本でのインド福祉村＝アーナンダ病院のサポーターが増えるよう願っています。